

2006年6月作成



特定非営利活動法人
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2005年度 事業報告書

◆FTCJ事務局◆

〒110-0015東京都台東区東上野1-20-6丸幸ビル3F

TEL:03-3835-0221 FAX:03-3835-7555

Email:info@ftcj.com URL:<http://www.ftcj.com>

2005年度事業報告書

2005年4月1日から2006年3月31日まで

特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

◆第一号議案:2005年度事業報告案

1 2005年度事業を実施して

2005年度の一歩の成果としては、子ども代表委員による子ども主体事業「児童労働と教育について考えようキャンペーン」を実施できたことです。FTCJ支部を中心に複数の地域で同時期にこのキャンペーンの一環で子どもメンバーによる子ども向けのワークショップや学習会が開催されました。今回、このキャンペーンを実現できたことで、普段なかなか会えないFTCJメンバーが同じ目的で同じ時期に同じような活動を同時多発的実施することで、目的意識の共有、活動を通じてのつながりを持つことができました。

その他には、インドとフィリピンへのスタディーツアーを実施でき、スタディーツアー参加者による報告会や報告書の作成もでき、現地で学んだことを多くの人に伝えることができました。また、岩手でのFTCJ夏キャンプを岩手メンバーの多くの協力を得て実施できたこと、「ほっとけない世界の貧しさ事務局」からの助成金を得られたことでFTCJクリスマスイベントを実施でき、全国の子どもメンバーの参加を促し子ども同士で国際情勢について学ぶことや交流の機会を設けることができたことも大きな成果でした。

また、海外支援事業のために、カナダ大使館での2回目の「チャリティーコンサート」を実施でき、多くのアーティストさんの協力を得られたと同時に、子どもメンバーから演奏や歌の参加してもらったことで、多くの人とコンサートを作り上げられ、ひいては海外支援事業につながりました。企業や財団などからの協賛を得られて行えたことも大きな成果でした。

2 事業の実施に関する事項(報告案)

(1) 子ども活動応援事業

活動名	活動実施内容と成果	受益対象者の範囲及び人数	事業費(円)
子ども主体活動	<p>2005年度は次の2つの活動を中心に行いました。</p> <p>1) 全国キャンペーン企画・運営 2006年3月12日～3月21日をアクションウィークと定め、この期間中にアクション(活動)を起こすという企画を立て、FTCJ全国メンバーに呼びかけました。次の2つのうち1つのコースを選び参加してもらいました。</p> <p>① ワークショップコース 児童労働に関するワークショップを行う。マニュアルを作り、マニュアルを見れば何の用意をしなくても活動できるようにしました。行ったのは、北海道支部・東大付属&高橋久美子&高井愛チーム・関西支部</p> <p>② 勉強会コース 児童労働に関する勉強会、または授業を行う。こちらもマニュアルを作り、それに沿って出来るようにしました。行ったのは、岩手支部・葺合支部・熊本支部・沖縄支部・北九州支部・四日市支部</p> <p>2) クリスマスパーティーでのプログラム企画・運営 2005年12月24日に行ったFTCJクリスマスパーティーでプログラムの一部を企画・運営を行うなど担当しました。事務局スタッフの協力のもと、無事成功しました。</p>	FTCJメンバーの子ども及び非メンバーの子ども延べ300人以上	(アドボカシー・イベント内に合算)

<p>子ども活動家 サポート 人材育成 事業</p>	<p>2005年度に行った活動は下記の通りです。</p> <p>1)プログラム開発 育成のためのプログラム開発</p> <p>2)子ども育成 -子ども育成のためのトレーニング実施 -岩手での夏キャンプ 子ども参加者は15人。社会問題に取り組みたい子どもに活動の一步を踏み出すためのきっかけ作り、情報提供、子ども同士の交流の場の提供を行いました。 -クリスマス交流会(ほっとけない世界の貧しさイベントと兼ねて実施) -開発(ワークショップなどの開発についてデータ作成した)</p> <p>3)相談窓口 資料提供。事務局関係窓口につなぐ橋渡し。似た悩みを抱えたメンバーや、前に似たことを経験したメンバーとつなげる。全国の子どもメンバーとの定期的な連絡と交流を行いました。</p> <p>※写真はクリスマス交流会での場面</p> 	<p>子ども メンバー 及び 非会員 述べ 300人 以上</p>	<p>夏キャン プ 259,669 その他は アドボカ シー・イ ベント及 び資料開 発に合算</p>
--	--	---	---

(2) 外部ネットワーク事業

活動名	活動実施内容と成果	受益対象者の範囲及び人数	事業費(円)
<p>外部ネット ワーク 構築</p>	<p>① JNNEへの参加 途上国の子どもの教育支援事業を行っているNGOでネットワークを作るJNNEに参加し、教育支援のあり方について情報交換や日本政府への提言、外務省やJICAとの情報交換を行いました。</p> <p>② CL-Net(児童労働ネットワーク)への参加 児童労働の廃絶に向けて個人、労働組合、NGOなどがネットワークを作るCL-Netに参加し、運営委員を務めました。児童労働反対世界デーのイベントの実施や学習会の協力、参加を行いました。</p> <p>③ 「世界中の子どもに教育を」キャンペーンへの参加 世界では1億3000万人ほどの子どもが初等教育を受けられていない現状を改善するため、ネットワークを作り、キャンペーンを行いました。2005年4月に多くの子どもが教育を受けられていない現状を知ってもらうための美術展覧会を渋谷の子どもの城で行いました。絵画展には子どもからおとなまで作品が寄席られ、優秀な作品には賞をおくりました。キャンペーンについて複数の新聞で報道されました。</p> <p>④ JANICへの団体会員登録 NGOをつなぎ、NGOへの情報提供をするJANICの団体会員に継続してなりました。その結果JANICが主催する国内外の研修や学習会に参加できました。</p>	<p>児童労働 に従事す る子ども 及び、教 育を受け られてい ない子ど も及び、 国内外の FTCJ事業 の対象者 (数字では 表せない)</p>	<p>30,570</p>

(3) アドボカシー(啓発)事業

活動名	活動実施内容と成果	受益対象者の範囲及び人数	事業費(円)
イベント活動	①<NGOまつりin上野> 第2回NGOまつりin上野を事務所のある丸幸ビルにて行いました。 運営委員会では広報を担当し、ホームページ、チラシ、ポスターの作成を行いました。当日の企画では、海外事業のフィリピン支援チームがスタディツアーの報告会を実施。	180人	1,254,993
	②<グローバルフェスタJAPAN2005> 展示ブースと飲食ブースのふたつを出店しました。 【展示ブース】 児童労働関連パネルの展示、海外支援事業の各チームのパネルを展示、物販チームによるフェアトレード商品販売、子ども活動応援事業によるワークショップ 【飲食ブース】 AshA海外支援チームによるサモサンド(サモサ風バーガー)の販売など	200人以上	
	③「～ほっとけない子ども活動家☆クリスマスパーティー～世界の貧困ワークショップ&アクションプラン発表交流会」 第1部 世界の貧困ワークショップ 第2部 アクションプラン発表交流会 (クリスマスパーティーのためエコメニュー軽食を出し交流しました。)	子ども、一般 50人	
	⑤ チャリティーコンサートINカナダ大使館 担当:インド・カンボジア支援チーム(ASHA) 2006年2月9日に東京のカナダ大使館のシアターホールを使用して、インドのリムラスクール支援事業とFTCインターナショナル(カナダ)が実施しているスマトラ沖地震津波被災者のスリランカの子ども支援のためにチャリティーコンサートを行いました。30名近いプロのアーティストを含む方々の協力の他、四日市支部や明治学院高校メンバー、その他個人で活動するメンバーなどにも参加してもらい、46万円の収益をあげることができました。	コンサート 観客人数217人 支援事業 受益者 800人	
ニュースレターの発行	2005年度ニュースレターチームでは、以下のニュースレターを計3回発行した。 ★No.10号発行 2005年6月: 特集 はじめての活動 ~ ★No.11号発行 2005年12月: 特集 FTCJサマーキャンプ2005in岩手 ★No.12号発行 2006年5月: 特集 ネパール訪問報告	延べ 200人以上	
ホームページの開設運営	今までのホームページを維持更新し運営していくと同時に、新しいホームページのデザインと内容を検討した。新たなイベント、ニュースなどの最新情報を掲載するよう努めた。 ①サーバー管理②新デザイン企画	日本語を読める子ども～	
資料開発	パネル作成と団体活動報告書の作成	子ども～	
出版	下記2つの書籍出版のため取材、執筆、企画(構成)、翻訳を行いました。 ①「ピア～性虐待をのりこえたある少女の軌跡～(仮題)」の出版 ②「Take Action」日本語版出版	子ども～	
スピーカー派遣	講演およびワークショップの要請や事務所訪問への対応を行いました。		

(4) 海外自立支援事業

インド、カンボジア、フィリピンの3カ国でパートナーを通じて子どもへの支援事業を行っています。

活動名	活動実施内容と成果	受益対象者の範囲及び人数	事業費(円)
インド支援	FTCインド 支援  支援先の子ども↑	マクタニア スクールの 子ども 50人～60 人	201,499
	NEWT リクス ール 支援	リムラスク ール生徒 300人 以上	911,000
	絵本 プロジェ クト	インドの子 ども 500人 以上	
	スタ ディ ーツ アー	参加者 (高校・大 学生) 20人	
	チャリ ティ ー コン サー ート	啓蒙(アドボカシー)事業のイベント項目で報告しています。	
カンボ ジア 支援	HCC 支援 ① 鉄の高騰によるシェルター建設費不足分の支援 HCCは日本大使館の支援を受けてシェルターの建設を始めたものの、鉄の高騰により予算オーバーになってしまいました。だからといって、大使館から新たな支援を受けることも出来ず、借金をすることになってしまいました。これをFTCJからの支援金でまかなうことになり、05年内に送金しました。 ② 電気設備工事費 シェルターを建てたものの、電気設備が不十分なために職業訓練をきちんと行えない状況になってしまいました。幸い、個人の方からの大口寄付などをいただけることになり、2005年のうちに支援金を送金できました。	HCCで保 護されて いる女の子 30名以上	2,139,107
フィリ ピン 支援	タタ グ 支 援	働く子ども 約400人	532,222
	ブレ ダ 基 金 支 援	ブレダで 保護され ている	
	全 国 キ ャ ラ バ ン	60人	
	新 聞	30人	

スタディーツアー	2006年3月にフィリピンのミンダナオ島、ルソン島のマニラとオロンガポを訪問し、支援先の子どもなどの現状と問題を学び、子どもとの交流を行いました。	日本人 中高大生 参加者 11人	
FTCネットワーク支援	FTCJメンバーから集められたシエラレオネへの募金を送りました。これは、シエラレオネの子どもの教育費に使われました。また、チャリティーコンサートの収益の一部をスリランカのスマトラ沖地震津波被災児童への支援のためFTCカナダを通じて募金を送りました。	シエラレオネおよびスリランカの子ども 1000人	82,002

(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

活動名 (事業名)	活動実施内容と成果	受益対象者の範囲及び人数	事業費 (千円)
翻訳事業	FTCJ事業に係る様々な英文での資料を日本語に翻訳しました。主に、FTCインターナショナルカナダから送られてくる資料や、FTCJの海外自立支援事業の現地パートナー団体による資料などです。その他には、日本語から英語に訳したものもありました。担当は、翻訳チームメンバーです。	主に子ども～おとな 会員 500人	管理費 参照
メンバー管理	個人情報保護法の学習会に参加した。問い合わせの情報をアクセス、エクセルで管理し、会員としての登録簿の作成などを行ったが、まだ不十分のところがあり、今後の課題です。	500人	
問い合わせ対応	毎日のメール、お手紙、ファックス、電話によるお問い合わせを受け付け、「会員になりたい」、「ビデオ、資料を送ってほしい」、「児童労働について、教えてほしい」などの様々な要望を、FTCJの事務局内担当者につなげ、割り振り、対応しました。	1,000人以上	
物品販売	アドボカシーと事業管理経費の資金調達のために設置された部署です。パートナー団体を通じてフェアトレード商品を輸入し、販売しました。その他団体の機関紙(ニュースレター)や各種活動報告書、書籍の販売をすることで、途上国の子どもについてや活動について知ってもらおうきっかけとしました。	500人以上	